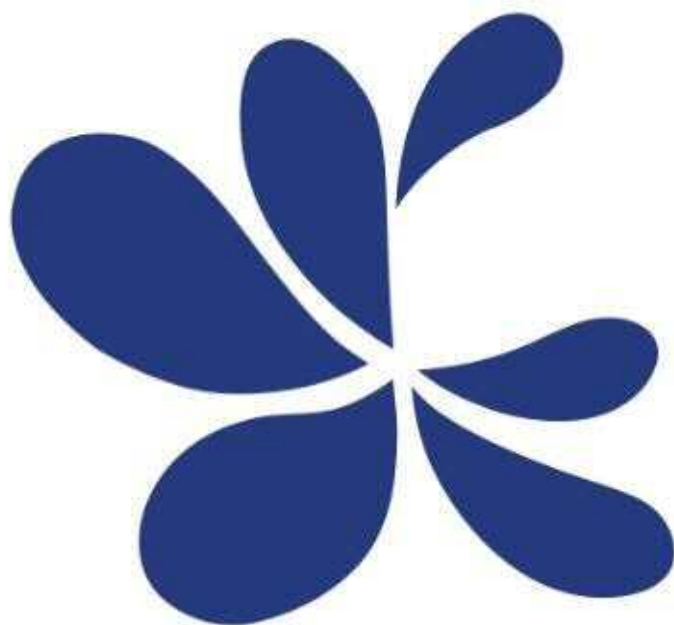


高島市環境白書 2016

(高島市環境報告書)



滋賀県高島市

INDEX -目次-

はじめに	1
1. 高島市の地勢	2
2. 高島市の環境行政の枠組み	4
3. 豊かな自然環境の保全	5
4. 健全な水環境の保全	6
5. 快適な生活環境の保全	7
6. 環境に配慮した取り組み	7
7. 資料	10

はじめに

私たち一人ひとりの普段の社会経済活動は、地球の環境に大きな影響を及ぼすこととなり、それにより地球温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく、生態系への影響、災害の激化、感染症の増加など、人間の生活に際してさまざまな影響を与えることとなります。

このことにより、生態系に影響があった場合は、微妙なバランスの上に成り立っているものであるため、一度崩れると元に戻るためには、長い時間と多大な負担が伴うこととなります。

近年では、毎年のように猛暑や暖冬となるなど、いろいろな要因が相互に絡まりながら、地球規模の深刻な被害をもたらす危険性があります。

なお、この問題の特徴としては、影響が現れるのに長い時間がかかるため、世代を越えた長期的な視野に立って、環境の保全を推進する必要があります。

そのためには、低炭素社会の構築を目指して、将来像に対する責任あるビジョンをもち、私たち人間も地球を形作る生態系の一部であるという自覚をもって、豊かで多様な自然環境を保全し再生するため、省エネルギー・低炭素エネルギーの推進や4Rの推進等、自然と社会が調和した環境づくりが重要であります。

本書は、本市の平成27年度における環境の現状と、「高島市環境基本計画」に示された施策の実施状況を取りまとめております。

皆さんの地域における環境問題に理解や関心を深めていただくとともに、今後の環境保全への取組みに少しでもお役に立てていただければ幸いです。

平成29年1月

高 島 市

1. 高島市の地勢

(1) 位置と地勢

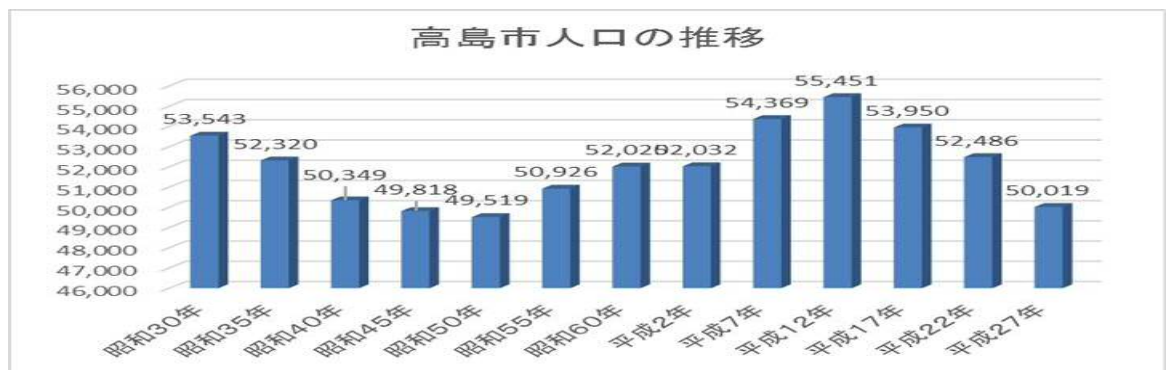
高島市は、滋賀県の北西部に位置し、総面積は693km²（琵琶湖を含めた面積）、総人口は約5万人を擁しています。本市の東部は琵琶湖に、南西部は比良山地を境に大津市および京都府に、北西部は野坂山地を境に福井県に接しています。気候的には積雪量の多い日本海型気候で、晩秋には「高島しぐれ」と呼ばれる降雨がしばしばあります。



(2) 人口の変化

平成27年の国勢調査における本市の人口は50,019人で平成22年との比較では約4.7%の減となり、平成12年から減少傾向が続いています。

年齢別人口の構成比において、平成22年と平成27年との比較でみると、15歳未満の年齢層が減少し、65歳以上の年齢層が増加していることから、平均寿命の伸び、出生率の低下、若年人口の流出等を背景に少子高齢化が急速に進展しています。



【資料 国勢調査】

高島市年齢別人口階層表・比率

	年齢別人口(人)			年齢別比率(%)		
	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上
昭和30年	17,632	31,528	4,383	32.9%	58.9%	8.2%
昭和35年	16,090	31,593	4,637	30.8%	60.4%	8.9%
昭和40年	13,550	31,825	4,974	26.9%	63.2%	9.9%
昭和45年	11,859	32,477	5,482	23.8%	65.2%	11.0%
昭和50年	11,367	32,041	6,107	23.0%	64.7%	12.3%
昭和55年	11,248	32,878	6,800	22.1%	64.6%	13.4%
昭和60年	11,093	33,451	7,468	21.3%	64.3%	14.4%
平成2年	10,098	33,316	8,595	19.4%	64.0%	16.5%
平成7年	9,712	34,146	10,503	17.9%	62.8%	19.3%
平成12年	8,720	34,361	12,354	15.7%	62.0%	22.3%
平成17年	7,651	32,782	13,517	14.2%	60.8%	25.1%
平成22年	6,702	31,098	14,640	12.8%	59.3%	27.9%
平成27年	5,861	28,055	16,018	11.7%	56.2%	32.1%

【資料 国勢調査】

(3) 土地利用

本市は、滋賀県でも最大級の面積を有し、人口密度は県内の市の中で最も低い地域です。

近年の土地利用形態は、森林や農用地が減り、宅地が増える傾向が続いていますが、集落内には空き家が目立ち始める地区があり、また昭和の宅地開発ブームに造成された別荘地や宅地分譲地の中には、まだまだ多くの未利用地があるのが現状です。

高島市土地利用種別面積（平成27年度）

単位：ha

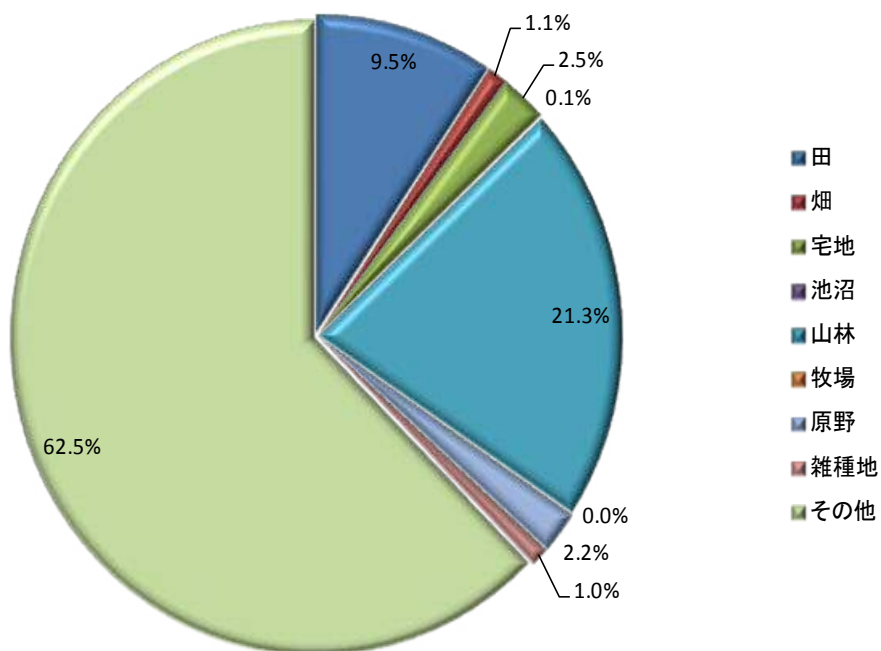
田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
4,832	554	1,271	32	10,866	1	1,118	504	31,934

注1) 田、畑、宅地、池沼、山林、牧場、原野および雑種地は評価総面積

注2) その他は非課税地積

【資料 高島市統計書】

高島市土地利用種別面積の割合



2. 高島市の環境行政の枠組み

● 高島市環境基本条例

高島市環境基本条例(平成17年制定)は、環境の保全と創造についての基本理念、市・市民・事業者(企業)の責務、施策の基本事項を定めており、本市の環境行政の基本となるものです。この条例には、環境基本計画の策定や市民・事業者と協働で環境保全活動に取り組む仕組みなどを規定しています。

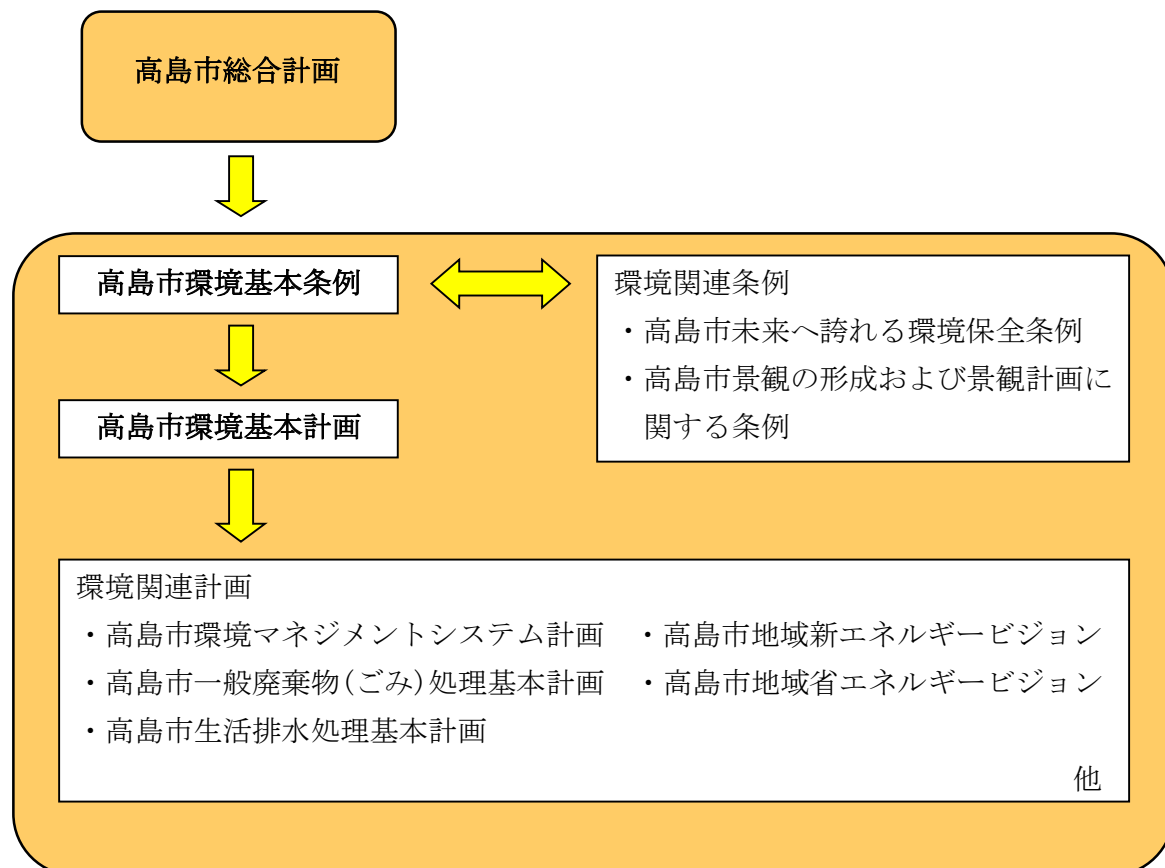
また、平成23年度には社会情勢を反映させた見直しを行いました。

● 高島市環境基本計画

高島市環境基本計画は、人と自然が共生する良好で豊かな自然環境を将来の子どもたちに引き継ぐこと、地域の歴史、風土、文化などを生かし育てること、人類共有の課題である地球環境の保全に向けて、環境への負荷を軽減する循環型社会を築き上げることを目的とし、市の施策をはじめすべての事業活動は、環境を優先して行うとともに、市民の意見を最大限に活かし参画と対話を通して行うものとしています。

高島市新市建設計画における、将来目標像『水と緑 人のいきかう 高島市』に基づき、人と環境の良好な関係に重点を置き、本市の将来像について、長期的、総合的な施策の指針を環境面での総合計画として位置づけています。

● 環境基本条例体系図



3. 豊かな自然環境の保全

高島市は、琵琶湖をはじめ里山などの豊かな自然に恵まれています。近年は、外来魚の増加や水草の異常繁茂など生態系に大きな変化が起きています。また、様々な開発や人々の生活様式の変化による環境や生態系への影響が懸念されています。このことから、自然環境について保全・再生を図り、豊かな自然を未来に引き継いでいくための対策が求められています。

●自然保護と農林漁業の連携

○環境保全型農林漁業の活性化

森林、里山、川、農地、琵琶湖の自然と農林漁業は密接に関連しあっていることから、環境保全型の農林漁業を活性化し、自然環境の保全を図ります。

●森林、里山の保全

○里山保全の推進

里山保全団体の育成や自然観察会、里、山、林を知るための講座開催、森林体験を通して森林、里山の保全に取り組めます。

○間伐材等の活用

間伐を進め、森林の多面的機能を向上させるとともに、間伐材等の有効活用に取り組めます。

○奥山の自然植生の保全

琵琶湖の水源域であり、野生鳥獣の生息場所でもある奥山に残された自然植生を損なわないよう維持します。

【森林環境学習「やまのこ」事業】



【森林セラピーロード】



● 動植物の保全

○鳥獣被害の防止

鳥獣被害防止のために集落、農地周辺の森林整備、有害鳥獣の個体数の調整に取り組めます。

○野生生物の生態系の保護

動植物の生息調査、希少種の指定で生態系の保護に取り組めます。

○外来水生植物の除去

平成26年12月にオオバナミズキンバイが確認されるなど、特定外来生物が琵琶湖岸に侵入し増殖しています。これらは生態系へ影響を与えることが懸念されるため、早急に除去していく必要があります、本年度より除去作業を進めています。

4. 健全な水環境の保全

○河川水質の監視

定期的に市内の河川の水質検査を行い、河川等の水質の監視に取り組めます。

○河川流量の安定化

森林や農地を保全することにより、水源かん養機能を高め、渇水や洪水防止など河川流量の安定化に取り組めます。

○排水対策の推進

水を汚さない、汚れた水を流さない取り組みを推進します。

○水質悪化の防止

主要河川での水質検査を行い常に状況を把握するとともに、ヨシ群落等の水質浄化機能のある在来の植物の保全を通して、水質悪化の防止に取り組めます。

○河川・琵琶湖の美化

清掃活動等の推進により河川、琵琶湖の美化に努めます。

○魚、水中生物等の保護

河川、水路および琵琶湖等に生息する魚、水中生物などの保護に取り組めます。

○地下水の保全

重要な役割を果たしている地下水の汚染防止、水量の確保に取り組めます。



5. 快適な生活環境の保全

○地球温暖化防止の推進

地球温暖化防止を推進するための計画の策定と対策の実施、地球温暖化対策を計画的に推進するために、地球温暖化対策実行計画等を策定し、それに基づいた対策を実施します。

○省エネルギー活動の推進

地球温暖化防止や資源の有効利用の観点から、家庭、学校、オフィス、工場などでの省エネルギー推進体制を構築し、普及啓発、活動支援などの取組みを推進します。

○再生可能エネルギー普及の推進

太陽光発電や小水力発電への積極的な取組み、地球温暖化防止や地域のエネルギー自給率の向上を目的に、再生可能エネルギー普及を図るため、普及啓発などの取組みを推進します。

○新エネルギー施策の導入

新エネルギーを計画的、積極的に導入するため普及啓発を行います。

○エコドライブの推進（アイドリングストップ等）

地球温暖化防止を目的に、自家用車、業務用車両などのエコドライブを推進します。

○環境マネジメントシステムの積極的導入

事務所等での環境マネジメントシステム構築を推進するため、普及啓発、学習会の開催、支援施策の実施などの取組みを進めます。

6. 環境に配慮した取り組み

(1) 目指す環境像

高島市は、森林や田園地域、琵琶湖などの多様で豊かな自然の恵みを受けて歴史を積み重ね、発展してきました。

しかし、最近のまちの発展は、このような自然を破壊することにより得てきたものであり、この影響が身近な環境から地球規模にまで広がり、私たちの生活や活動と環境との関わりを見直さなければならないときがきています。

自然と人の暮らしが調和されてきた環境を大切にしながら、持続可能な資源循環型のまちづくりのしくみを確立する必要があります。

このことから、環境面からみた高島市のあるべき姿として、環境像を次のとおり定め、その実現を目指しています。

水と緑と人を大切に、自然と共生するまち
～未来へ誇れる高島市の環境づくり～

(2) ごみの排出量

高島市のごみ処理量は、平成21年度で約2万トン、そのゴミを処理するために約14億5千万円の経費がかかっていました。

平成27年度には、ごみ処理量は約1.7万トン、経費は約13億1千万円まで削減することができました。

これからも、紙ごみだけでなく生ごみなどの燃やせるごみ全般の削減に取り組んでいきます。

	可燃ごみ排出量	平成21年度比削減量
平成23年度	13,600.15 t	△ 525.80 t
平成24年度	13,564.12 t	△ 561.83 t
平成25年度	13,723.74 t	△ 402.21 t
平成26年度	13,223.92 t	△ 902.03 t
平成27年度	13,087.91 t	△1,038.04 t

●市役所庁内の推進体制

■たかしま環境マネジメントシステム（T E S）の取り組み

環境政策課にT E S推進事務局を設置し、環境基本計画の推進、連絡・調整、環境マネジメントシステムの運用などを行っています。具体的には、環境政策を実施する際の各部局間の調整や進捗状況の管理などを行っています。

■グリーン購入の取り組み

商品などを購入する際、必要性を十分考慮し、価格や品質だけでなく環境のことを十分考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入する「グリーン購入」を積極的に取り組んでいます。



高島市ごみ減量キャラクター
「スリムヤン」

●環境にやさしい農業の振興（農業政策課・農村整備課）

水源かん養など多様な環境保全機能を持つ農地を守り育てる農業を推進しています。

また、環境や食の安全に配慮した環境保全型農業や無農薬・無化学肥料栽培などを推進しています。

農業排水の浄化、汚濁水、富栄養化の原因となる排水を流さないなど、環境や食の安全に配慮した農業を推進し、消費者の確保に努めています。

●農業施設を活用した小水力発電の推進（農村整備課）

高島市の豊かな自然環境との共生と農業・農村が持つ多面的機能を有効活用しながら、エネルギー自給、防災、低炭素社会づくりなどの総合的な視点からも水力を活用した再生可能エネルギーの導入を推進することは、農村振興や地域の活性化につながります。

このことから、農業施設を活用した小水力発電事業を推進し、再生可能エネルギーの導入と持続可能な循環型社会づくりを目指します。

●環境学習の推進（環境政策課・ごみ減量対策課）

次世代を担う子供たちが、生命の尊さを理解し、自然に対する感性や環境を大切に思うよう、体験や遊びなどを通して自ら考え行動する環境学習を行っています。

また、職場および地域での学習会の開催など多様な主体が協働して、身近な生活行動と環境との関わりや自然環境について具体的な行動につながる環境学習を推進しています。

エコライフ推進協議会や環境推進員の活動を応援し、市民との協働による環境保全などの活動を推進します。



【環境学習・環境学習出前講座】学校



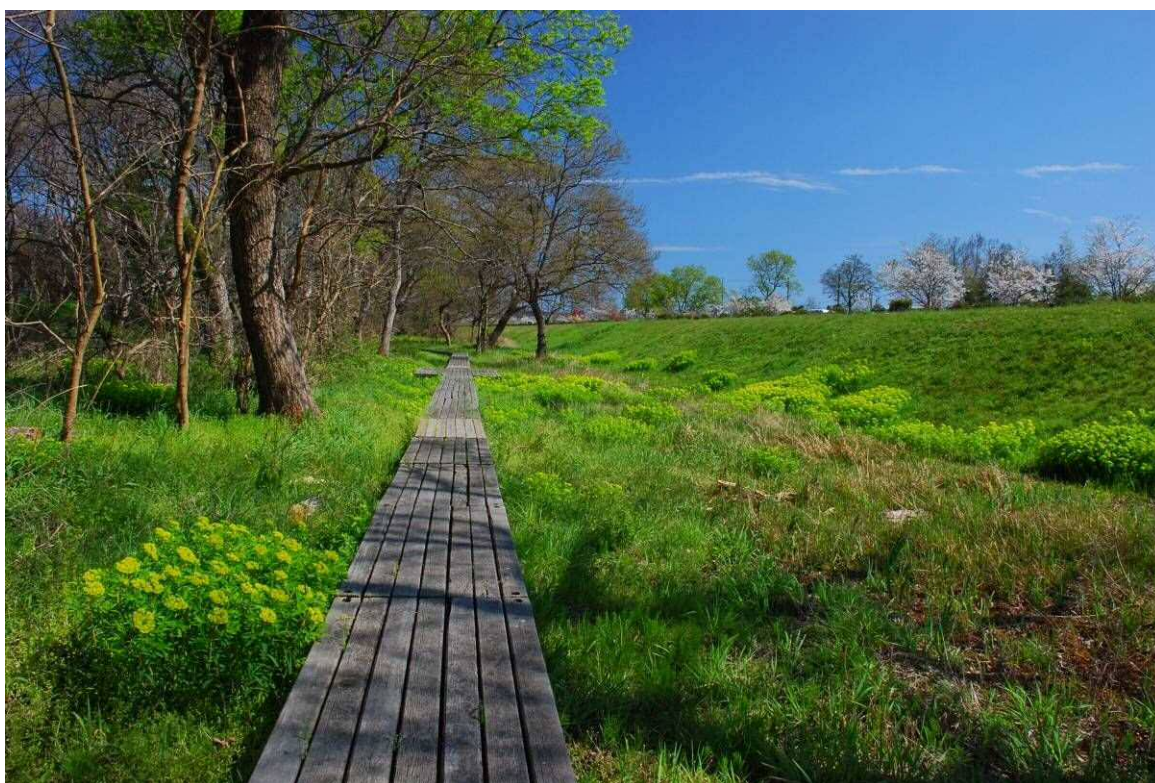
【エコライフ推進協議会】



【環境学習・環境学習出前講座】区・自治会

7. 資 料

- (1) 平成27年度高島市環境マネジメントシステム独自目標達成状況
- (2) 高島市環境関連補助金について
- (3) 平成27年度高島市のごみ処理の状況
- (4) 高島市環境関連施設の状況
- (5) 平成27年度河川等水質検査結果
- (6) 高島市環境基本計画の数値目標について



平成27年度TES独自目標達成状況

項目番号	内容	測定項目	H27目標値(a)			H27実績値(b)			H26実績値(b)			地歴(e-b)	達成率(a/b)	評価	対前年度(b/c)
			計測値	金額換算	CO2換算	計測値	金額換算	CO2換算	計測値	金額換算	CO2換算				
a101	本行舎および別館、支所における電気使用量の総量を前年度実績より削減します。	電気	計測値	1,103,228 kWh	1,065,903 kWh	1,103,228 kWh	▲ 47,326 kWh	104.48	○	95.71					
			金額換算	25,186,718 円	24,106,265 円	24,182,780 円	▲ 1,080,453 円								
			CO2換算	576,989 kg-CO2	592,237 kg-CO2	569,266 kg-CO2	▲ 24,751 kg-CO2								
a102	本行舎および別館、支所における灯油購入量の総量を前年度実績より削減します。	灯油	計測値	81,354 L	68,610 L	81,354 L	▲ 12,744 L	118.57	○	84.34					
			金額換算	6,329,341 円	5,337,868 円	8,159,806 円	▲ 991,483 円								
			CO2換算	203,385 kg-CO2	171,525 kg-CO2	203,385 kg-CO2	▲ 31,860 kg-CO2								
a103	本行舎および別館、支所におけるLPG購入量の総量を前年度実績より削減します。	LPG	計測値	343 m ³	326 m ³	343 m ³	▲ 17 m ³	105.21	○	95.04					
			金額換算	179,732 円	170,824 円	183,436 円	▲ 8,908 円								
			CO2換算	1,028 kg-CO2	978 kg-CO2	1,028 kg-CO2	▲ 51 kg-CO2								
a104	本行舎および別館、支所におけるA重油購入量の総量を前年度実績より削減します。	A重油	計測値	2,510 L	0 L	2,510 L	▲ 2,510 L	251,000.00	○	0.00					
			金額換算	182,226 円	0 円	242,368 円	▲ 182,226 円								
			CO2換算	6,777 kg-CO2	0 kg-CO2	6,777 kg-CO2	▲ 6,777 kg-CO2								
a105	本行舎および別館、支所における燃えるごみの排出量を前年度と比較して8%削減します。	燃えるごみ	計測値	3,753 kg	4,361 kg	4,079 kg	608 kg	86.06	×	106.90					
			金額換算	300,240 円	348,880 円	326,352 円	48,640 円								
			CO2換算	3,002 kg-CO2	3,489 kg-CO2	3,264 kg-CO2	486 kg-CO2								
合 計			金額換算	32,178,257 円	28,963,827 円	33,085,342 円	▲ 2,214,430 円								
b101	環境マネジメント推進本部長が示すテーマによる職員研修を開催します。	年間	1 回	1 回	1 回	0 回	-	○	-						
		広報	12 回	12 回	12 回	0 回	100.00	○	100.00						
c101	環境に関する情報を広報誌等で年12回以上提供します。	年間	12 回	12 回	12 回	0 回	100.00	○	100.00						

(b/a)

(b/a)

(c/b)

※ 平成26年度 金額換算値 電気:21,822円/kwh 灯油:100.3円/L LPG:53.48円/m³ A重油:96.8円/L 燃えるごみ(古紙類):80円/kg
 ※ 平成26年度 CO2排出係数 電気:0.516kgCO2/kwh 灯油:2.5kgCO2/L LPG:3.0kgCO2/m³ A重油:2.7kgCO2/L 燃えるごみ(古紙類):0.8kgCO2/kg
 ※ 平成27年度 金額換算値 電気:22,832円/kwh 灯油:77.8円/L LPG:52.4円/m³ A重油:72.6円/L 燃えるごみ(古紙類):80円/kg
 ※ 平成27年度 CO2排出係数 電気:0.523kgCO2/kwh 灯油:2.5kgCO2/L LPG:3.0kgCO2/m³ A重油:2.7kgCO2/L 燃えるごみ(古紙類):0.8kgCO2/kg

(四半電力、石油精製センター、ごみ焼却大井町) (四半電力、石油精製センター、ごみ焼却大井町) (四半電力、石油精製センター、ごみ焼却大井町) (四半電力、石油精製センター、ごみ焼却大井町)

(2)高島市環境関連補助金について

○生ごみ処理機設置事業（家庭用）

※平成 26 年度より、地域の循環型社会の構築を目指すため、特に生ごみの減量化および資源化に取り組みを進めており、補助制度を拡充しています。

■事業主体 : 市民

■補助対象となる経費

一般家庭用の生ごみ処理機設置等の経費

特別な事由を除き、同一世帯につき 1 台を限度とする

■補助金の額や補助率

補助率…	電気式生ごみ処理機	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	40,000 円
	コンポスト	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	7,500 円
	コンポスト用基材	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	3,000 円

■高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

■平成 27 年度実績	電気式生ごみ処理機	28 件	1,072,578 円
	コンポスト	45 件	239,713 円
	コンポスト用基材	26 件	58,371 円
			計 1,370,662 円

○生ごみ処理機設置事業（事業所用）

■事業主体 : 市内に事業所を有する者

■補助対象となる経費

生ごみ処理機（生ごみを微生物分解、加熱乾燥、電磁熱分解等の方法により処理し、堆肥化、消滅または減量化する機器(焼却炉およびディスポーザを除く。))の導入に係る費用

■補助金の額や補助率

補助率 …	3 kg 以下		
	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	4 万円
	3 kg 超		
	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	200 万円

■高島市事業所用生ごみ処理機導入事業費補助金交付要綱

■平成 27 年度実績 6 件 12,000,000 円

◎生ごみ処理機設置事業とは

家庭から出る生ごみの自家処理への関心を高め、ごみの減量と再資源化を図るための生ごみ処理機設置に対しての補助

○資源ごみ集団回収活動事業

■資源ごみ集団回収活動事業とは

日常生活から出る一般廃棄物のうち、再生可能な有価物の回収活動を促進し、ごみの減量化・再資源化を図り生活環境の保全に資することを目的として行う資源ごみの集団回収活動事業に対しての補助

■事業主体 : 市民グループ・団体

- 単位子ども会
- 単位 P T A
- 単位婦人会（女性の会）
- 単位老人クラブ
- 市内に活動拠点となる施設を有する社会福祉法人
- その他市長が認める団体

■補助対象

資源ごみの回収量に基づく

■補助金の額

- 新聞・雑誌・ダンボール・古着 3 円 / 1 kg 当たり
- ペットボトル・飲用紙パック 5 円 / 1 kg 当たり
- *年 6 回以上実施した団体に対する奨励補助 5,000 円

■高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

■平成 27 年度実績 27 件 555,390 円

○ごみ集積所整備事業

■ごみ集積所整備事業とは

ごみ集積所における犬や猫・カラス・風雪などによるごみの散乱を防止し、集積所周辺的环境改善と公衆衛生の向上を図る目的で、一般家庭から出るごみを集積する施設を整備する事業に対しての補助

■事業主体 : 区、自治会のない地域で組織されている団体

■補助対象となる経費

一般ごみ集積所のかご等を設置するための経費

■補助金の額や補助率

補助率 … 補助対象事業費の2/3以内 限度額 3万円

■高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

■平成27年度実績 1件 30,000円

○太陽熱温水器設置事業

■太陽熱温水器設置事業とは

限りある資源の節約と省エネルギー意識の高揚、自然エネルギー機器の導入を推進するために行う太陽熱温水器を購入する事業に対する補助

■事業主体 : 市民

■補助対象となる経費

太陽熱温水器の購入にかかる経費
同一世帯につき1台を限度とする

■補助金の額や補助率

補助率 … 購入費の1/10以内 限度額 5万円

■高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

■平成27年度実績 6件 114,000円

○太陽光発電システム設置補助金

■太陽光発電システム設置補助金とは

地球温暖化防止対策の一環として、自然エネルギーの有効利用を促進し環境にやさしいまちづくりを推進するため、太陽光発電システムを設置される方に対する補助

■事業主体

- 市内に住所がある方（実績報告時までには住所を市内に移される方を含む）
- 市税の滞納がない方
- 過去にこの補助金を受けていない方

■補助対象となる経費

以下のすべての要件を満たすことが条件です。

- 住宅の屋根等への設置に適したものであり、低圧配電線と逆潮流有りで連携したものであること。
- 太陽電池の最大出力の合計値が10キロワット未満であること。
- 自らが居住する住宅(店舗等の併用住宅を含む。)等に設置するものであること。
市内に本店または支店を有する施工業者および販売業者から購入すること。
- システムが設置された建売住宅（未入居の新築物件に限る。）を購入する場合にあっては、補助金の交付の決定があった日から当該年度の末日までに住宅の引渡しを受けるものであること。
- 電力会社と電力の受給に関する契約を締結するものであること。
- 未使用であること。

■補助金の額や補助率

補助金 … 1キロワットあたり3万円（限度額10万円）

■高島市住宅用太陽光発電システム設置補助金交付要綱

■平成27年度実績 9件 900,000円

○高島市小水力発電モデル事業補助金

■高島市小水力発電モデル事業補助金とは

水を資源とする小水力発電を活用し、低炭素社会および循環型社会の構築を推進するため、小水力発電施設の設置に係る経費の一部を補助

■事業主体

- 市内で主たる活動を行う法人、団体

■補助対象となる経費

- 市内に設置されるもので、発電出力が20キロワット未満の小水力発電に必要な設備。

(発電機、制御装置、安定器、蓄電池、発電に必要な配管、電気利用のための電気配管、棟屋、危険防止柵および市が認めた付帯設備)

■補助金の額や補助率

補助金 … 補助対象事業費の2分の1以内 限度額50万円

■高島市小水力発電モデル事業補助金交付要綱

■平成27年度実績 一件 一円

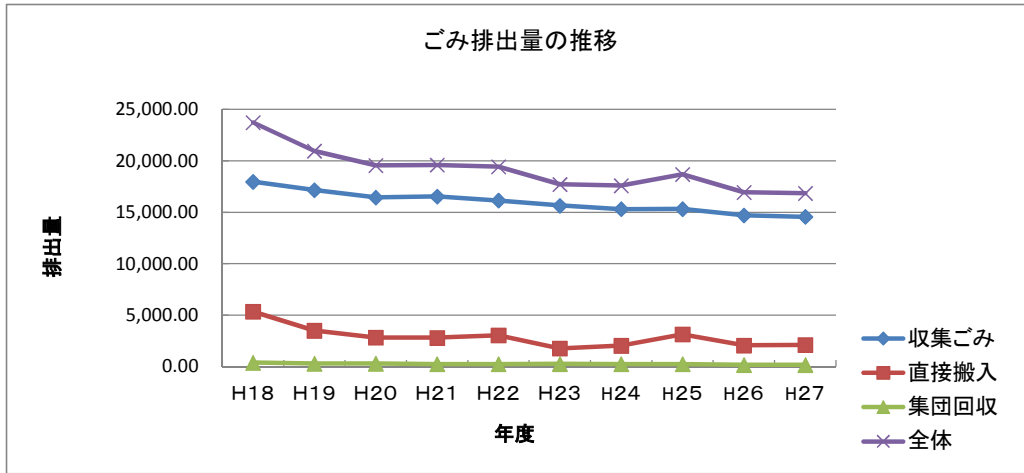
(3) ごみ処理の状況

1. ごみ排出量の推移

(単位:t)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
収集ごみ	17,981.28	17,171.31	16,449.88	16,542.69	16,146.51	15,663.58	15,313.18	15,323.74	14,709.54	14,568.50
直接搬入	5,353.42	3,498.83	2,829.26	2,806.87	3,044.19	1,775.70	2,038.74	3,143.39	2,070.86	2,102.44
集団回収	393.11	299.92	289.94	246.09	240.46	278.05	248.02	239.34	169.35	171.51
全体	23,727.81	20,970.06	19,569.08	19,595.65	19,431.16	17,717.33	17,599.94	18,706.47	16,949.75	16,842.45

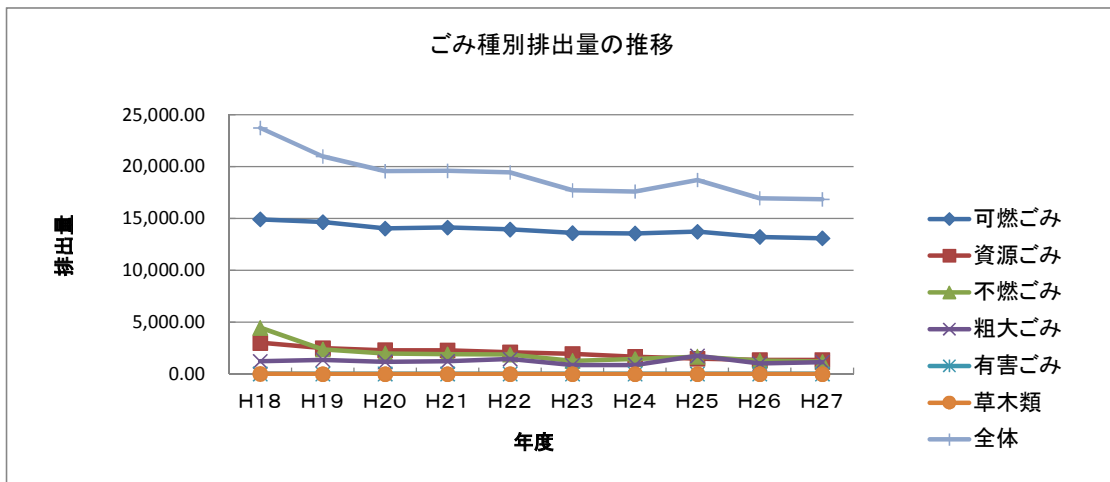
市民1人・1日あたり 901g



2. ごみ種別排出量の推移

(単位:t)

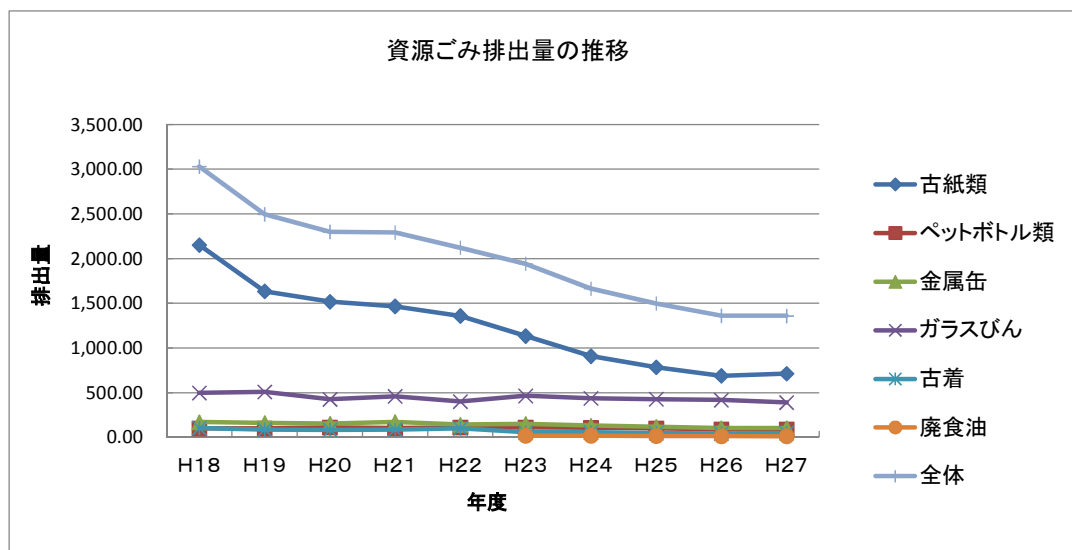
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
可燃ごみ	14,923.43	14,662.82	14,050.04	14,125.95	13,945.31	13,600.15	13,564.12	13,723.74	13,223.92	13,087.91
資源ごみ	3,029.86	2,497.69	2,297.63	2,292.07	2,122.12	1,941.80	1,665.61	1,498.43	1,361.44	1,359.79
不燃ごみ	4,476.92	2,386.52	1,995.12	1,911.26	1,884.93	1,277.26	1,457.22	1,680.02	1,297.14	1,204.20
粗大ごみ	1,231.18	1,376.77	1,194.70	1,233.49	1,448.26	868.37	881.28	1,772.25	1,035.54	1,159.12
有害ごみ	33.72	33.42	31.59	32.88	30.54	29.75	31.71	32.03	31.71	31.43
草木類	32.70	12.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
全体	23,727.81	20,970.07	19,569.08	19,595.65	19,431.16	17,717.33	17,599.94	18,706.47	16,949.75	16,842.45



3. 資源ごみ排出量の推移

(単位:t)

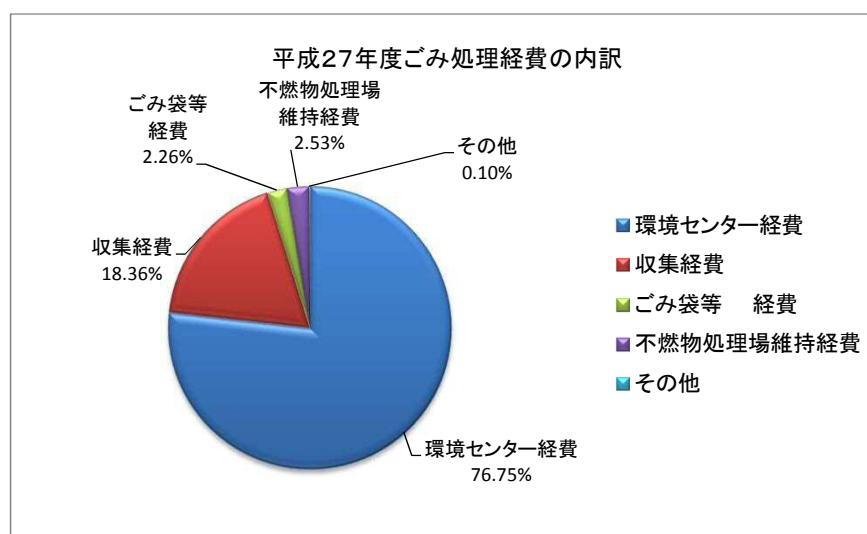
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
古紙類	2,153.77	1,634.02	1,518.95	1,467.00	1,359.48	1,135.76	910.66	784.92	689.58	712.51
ペットボトル類	101.12	101.46	112.68	103.84	113.89	111.54	108.47	101.34	89.84	90.37
金属缶	171.65	163.65	154.30	174.11	144.10	152.35	132.71	118.60	105.09	104.94
ガラスびん	497.74	510.37	426.60	458.96	402.28	465.79	438.38	429.02	418.94	389.89
古着	105.58	88.18	85.10	88.16	102.37	58.54	57.56	49.09	43.90	48.52
廃食油						17.82	17.83	15.46	14.09	13.56
全体	3,029.86	2,497.68	2,297.63	2,292.07	2,122.12	1,941.80	1,665.61	1,498.43	1,361.44	1,359.79



4. 平成27年度ごみ処理経費の内訳

(単位:円)

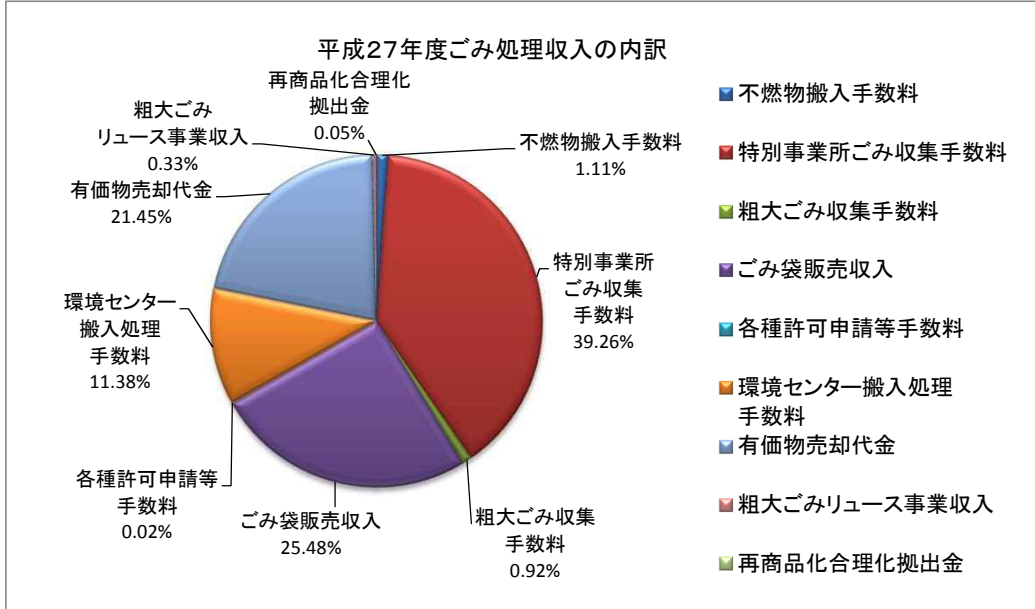
種類	環境センター経費	収集経費	ごみ袋等経費	不燃物処理場維持経費	その他	合計
金額	1,005,868,890	240,675,460	29,574,584	33,116,010	1,346,505	1,310,581,449
割合	76.75%	18.36%	2.26%	2.53%	0.10%	100.00%



5. 平成27年度ごみ処理収入の内訳

(単位:円)

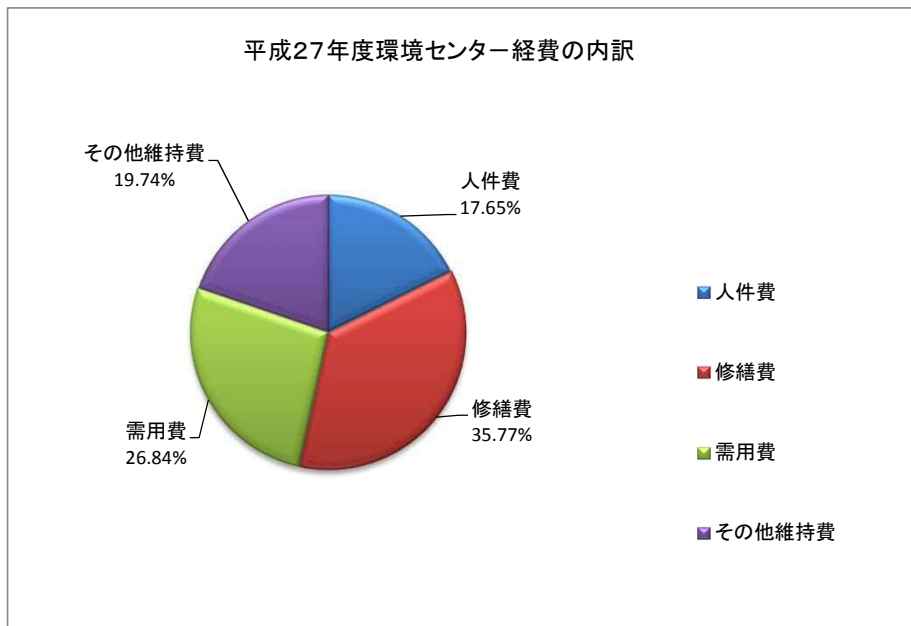
種類	不燃物搬入手数料	特別事業所ごみ収集手数料	粗大ごみ収集手数料	ごみ袋販売収入	各種許可申請等手数料	環境センター搬入処理手数料	有価物売却代金	粗大ごみリユース事業収入	再商品合理化抛入金	合計
金額	1,020,370	36,043,800	845,600	23,395,120	16,600	10,447,100	19,691,143	301,000	47,578	91,808,311
割合	1.11%	39.26%	0.92%	25.48%	0.02%	11.38%	21.45%	0.33%	0.05%	100.00%



6. 平成27年度環境センター経費の内訳

(単位:円)

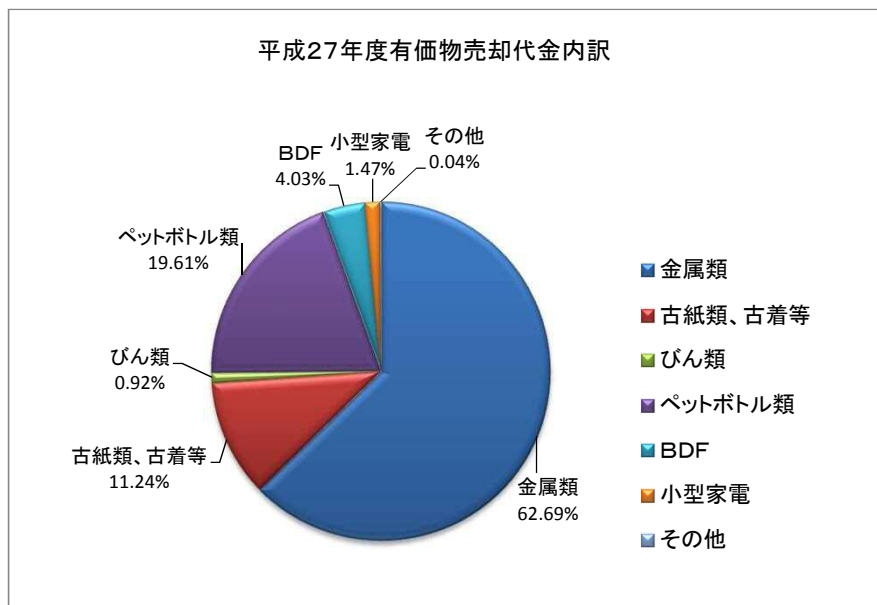
種類	人件費	修繕費	需用費	その他維持費	合計
金額	177,522,812	359,738,904	270,008,847	198,598,327	1,005,868,890
割合	17.65%	35.77%	26.84%	19.74%	100.00%



7. 平成27年度有価物売却代金内訳

(単位:円)

種類	金属類	古紙類、古着等	びん類	ペットボトル類	BDF	小型家電	その他	合計
金額	12,344,359	2,213,241	180,826	3,861,104	794,528	289,602	7,483	19,691,143
割合	62.69%	11.24%	0.92%	19.61%	4.03%	1.47%	0.04%	100.00%



(4)高島市環境関連施設の状況

①

施設名	マキノ不燃物処理場
所在地	高島市マキノ町沢202番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和48年12月
全体容量	52,000m ³
平成27年度処理量	—
状況	平成16年3月埋立終了
残容量	なし



②

施設名	今津不燃物処理場
所在地	高島市今津町杉山35番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	平成3年9月
全体容量	58,000m ³
平成27年度処理量	1,035.9m ³
状況	埋立中
残容量	8,379.3m ³



③

施設名	朽木不燃物処理場
所在地	高島市朽木荒川1119番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和59年7月
全体容量	5,368m ³
平成27年度処理量	22.0m ³
状況	埋立中
残容量	1,690.4m ³



④

施設名	安曇川不燃物処理場
所在地	高島市安曇川南船木816番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和47年10月
全体容量	25,000m ³
平成27年度処理量	—
状況	平成7年3月埋立終了
残容量	なし



⑤

施設名	高島横山不燃物処理場
所在地	高島市武曾横山1536番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和59年2月
全体容量	19,600m ³
平成27年度処理量	—
状況	平成21年6月埋立終了
残容量	なし



⑥

施設名	新旭饗庭不燃物処理場
所在地	高島市新旭町饗庭717番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和43年
全体容量	160,650m ³
平成27年度処理量	16,000m ³
状況	平成20年度～平成23年度再生整備工事
残容量	再生整備区画 184,900m ³



⑦

施設名	高島市環境センター
所在地	高島市今津町途中谷236番地
施設の種類	ごみ処理施設(焼却施設) 流動床ガス化溶融炉方式 リサイクル施設
稼動開始年月	平成14年12月
能力	可燃ごみ処理 75t/日 粗大・不燃ごみ処理 15t/5h 資源ごみ処理 10t/5h
平成27年度処理量	13,818t



⑧

施設名	高島市衛生センター
所在地	高島市今津町今津770番地
施設の種類	し尿処理施設
稼動開始年月	昭和52年4月
能力	70kl/日
平成27年度処理量	12,173kl



⑨

施設名	高島市斎場
所在地	高島市今津町今津2211番地
施設の種類	火葬施設・・・火葬炉3基
稼働開始年月	昭和60年4月
能力	5体/日
平成27年度火葬数	598体



(5) 平成27年度河川等水質検査結果

平成27年度河川等水質検査においては、11月に河川26地点、地下水2地点を調査しました。河川については、大腸菌群数を除き概ねAA～A類型に適合する水質でした。大腸菌群数についても過去の調査と比較すると低い数値でした。地下水A、B地点については、基準値以内であり地下水汚染はありませんでした。

※下記は今年度の河川データであり、環境基準と比較しております。指定類型はありませんが、ここでは指定類型Aを適用し、比較しております。全亜鉛は指定類型はなく、全リン・全窒素については、湖沼の基準しかありません。ヒ素については、特殊事情がある河川のみ調査しています。

1、河川

町名	河川名	項目	水温 °C	透視度 cm	PH	(BOD) 生物化学的 酸素要求量 mg/l	(COD) 化学的酸素 要求量 mg/l	(SS) 浮遊物質 mg/l	(DO) 溶存酸素 量 mg/l	大腸菌群 数 MPN/100ml	全リン (P) mg/l	全窒素 (N) mg/l	全亜鉛 mg/l	ヒ素 0.01mg /l以下
高島	瀬戸川		14.0	>100	7.2	0.6	3.9	1	10.0	16,000	0.130	0.40	0.008	-
	鯰川		15.0	>100	7.0	0.6	2.3	<1	9.7	3,500	0.040	0.70	0.006	-
	鴨川		13.5	>100	7.3	0.5	1.5	<1	10.0	490	0.005	0.31	0.003	-
安曇川	朽木処分場下流		13.2	>100	7.1	<0.5	2.9	2	9.4	1,300	0.017	0.95	0.004	-
	八反田川		15.1	>100	6.7	0.7	1.6	1	8.9	3,500	0.087	0.82	0.005	-
	北川		15.8	>100	6.8	0.7	0.9	1	9.8	5,400	0.009	0.60	0.006	-
	堀川(安曇川町)		14.7	>100	7.2	0.8	2.8	5	10.0	2,800	0.064	0.57	0.005	-
新旭	田井川		14.5	>100	6.9	0.7	1.6	<1	9.9	790	0.026	0.50	0.007	-
	南川		15.8	>100	7.2	0.7	1.7	1	10.0	1,300	0.029	0.44	0.006	-
	堀川(新旭町)		14.0	>100	7.3	1.2	3.1	1	10.0	5,400	0.066	0.62	0.008	-
	大同川		15.2	>100	7.2	0.6	1.1	1	9.4	24,000	0.059	0.36	0.006	-
	風呂屋川		15.0	>100	7.8	2.6	3.0	<1	11.0	130,000	0.083	0.66	0.007	-
今津	林照寺川		13.8	>100	7.2	0.7	2.6	2	9.8	5,400	0.009	0.39	0.004	-
	庄界川		16.4	>100	7.2	1.3	3.3	2	8.8	3,500	0.027	0.44	0.003	<0.005
	中の川		15.8	65	6.9	1.4	2.5	6	7.7	9,200	0.089	1.20	0.005	<0.005
	今津川		15.2	>100	7.4	0.6	1.9	3	9.8	5,400	0.028	0.68	0.003	<0.005
	上郷川		16.1	>100	6.6	<0.5	1.0	<1	9.1	1,700	0.027	1.10	0.002	<0.005
	酒波用水路		13.5	>100	7.2	0.5	1.7	1	10.0	1,400	0.013	0.62	0.008	-
マキノ	百瀬川		15.2	>100	7.0	0.6	1.7	<1	9.5	5,400	0.024	0.84	0.001	-
	八王子川		13.2	>100	7.4	<0.5	1.6	<1	10.0	790	0.011	0.54	0.006	-
	印内川		15.6	>100	7.5	0.6	2.1	1	10.0	3,500	0.028	0.78	0.005	-
	御堂川		15.0	>100	7.5	<0.5	2.0	<1	10.0	3,500	0.019	0.71	0.001	-
	前川(知内)		15.2	>100	6.8	<0.5	1.5	<1	9.7	9,200	0.017	1.00	0.002	-
	新保川(新保)		14.5	>100	7.0	0.8	1.3	1	9.7	9,200	0.039	0.65	0.004	-
	東内沼排水路		15.8	>100	7.5	1.4	2.3	<1	10.0	16,000	0.002	1.20	0.002	-
朽木	針畑川		12.5	>100	7.0	0.9	0.9	<1	9.8	220	0.009	0.43	0.003	-

生活環境の保全に関する環境基準

●河川(湖沼を除く)

ア

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級・自然環境保全 及びA以下の欄に掲げ るもの	6.5以上8.5以下	1mg/l 以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	50MPN/100ml 以下
A	水道2級・水産1級・水浴 及びB以下の欄に掲げ るもの	6.5以上8.5以下	2mg/l 以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	1,000MPN / 100ml以下
B	水道3級・水産2級及び C以下の欄に掲げるも の	6.5以上8.5以下	3mg/l 以下	25mg/l 以下	5mg/l 以上	5,000MPN / 100ml以下
C	水産3級・工業用水1級 及びD以下の欄に掲げ るもの	6.5以上8.5以下	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5mg/l 以上	—
D	工業用水2級・農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6.0以上8.5以下	8mg/l 以下	100mg/l 以下	2mg/l 以上	—
E	工業用水3級・環境保全	6.0以上8.5以下	10mg/l 以下	ごみ等の浮遊が 認められないこと	2mg/l 以上	—

- (注) 1 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
 2 水道1級 : ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級 : 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級 : 前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産1級 : ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の
 水産生物用
 水産2級 : サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 水産3級 : コイ、フナ等、 β -中腐水性水域の水産生物用
 4 工業用水1級 : 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級 : 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級 : 特殊の浄水操作を行う
 5 環境保全 : 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値	
		全亜鉛	
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/l 以下	
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/l 以下	
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/l 以下	
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/l 以下	

●湖沼

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全リン
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの	0.1mg/l 以下	0.005mg/l 以下
II	水道1、2、3級(特殊なものを除く。)・水産1種・水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2mg/l 以下	0.01mg/l 以下
III	水道3級(特殊なもの)及びIV以下の欄に掲げるもの	0.4mg/l 以下	0.03mg/l 以下
IV	水産2種及びVの欄に掲げるもの	0.6mg/l 以下	0.05mg/l 以下
V	水産3種・工業用水・農業用水・環境保全	1mg/l 以下	0.1mg/l 以下

- (注) 自然環境保全・水道1～3級・環境保全は上記と同じ
 水産1種: サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用
 水産2種: フカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用
 水産3種: コイ、フナ等の水産生物用

2、地下水

※下記は、地下水のデータであり、地下水の環境基準と比較し、汚染がないか調査しております。

項目 \ 地下水名	地下水 A	地下水 B
水温	13.0	14.6
透視度	>100	>100
pH	7.0	6.5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.5	<0.5
化学的酸素要求量 (COD)	0.6	<0.5
浮遊物質 (SS)	<1	<1
溶存酸素量 (DO)	8.8	8.1
一般細菌	0	7
大腸菌	不検出	不検出
全亜鉛	0.003	0.004
カドミウム	<0.0003	<0.0003
全シアン	不検出	不検出
鉛	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01
ヒ素	<0.005	<0.005
総水銀	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	不検出	不検出
PCB	不検出	不検出
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002
ジクロロメタン	<0.002	<0.002
1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004
1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001
1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006
1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004
1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002
ホウ素	<0.01	<0.01
フッ素	<0.08	<0.08
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.39	0.60
1, 4-ジオキサン	<0.005	<0.005

人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003mg/l 以下	1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/l 以下
全シアン	検出されないこと	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/l 以下
鉛	0.01mg/l 以下	1, 1-ジクロロエチレン	0.1mg/l 以下
六価クロム	0.05mg/l 以下	シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/l 以下
ヒ素	0.01mg/l 以下	1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/l 以下
総水銀	0.0005mg/l 以下	チウラム	0.006mg/l 以下
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003mg/l 以下
PCB	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/l 以下
トリクロロエチレン	0.01mg/l 以下	ベンゼン	0.01mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/l 以下	セレン	0.01mg/l 以下
四塩化炭素	0.002mg/l 以下	ホウ素	1mg/l 以下
ジクロロメタン	0.02mg/l 以下	フッ素	0.8mg/l 以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/l 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l 以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/l 以下		

3、不燃物処理場放流水

今津不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	°C	15.1	16.3	18.6	20.0	23.7	23.7	21.2	17.8	12.9	11.3	8.3	10.6
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L			0.5未満						0.5未満			
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L			0.5未満						0.5未満			
大腸菌群数	個/cm3			0						0			0
ph (水素イオン濃度)		7.6	7.4	7.4	7.3	7.5	7.7	7.8	7.4	7.5	7.8	7.7	7.8
SS (浮遊物質量)	mg/L	0.5	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	2.3	2.0	3.8	3.8	4.0	4.1	2.5	3.7	4.0	1.1	4.1	3.4
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	3	3	4	2	1	1	1	2	1	1	1未満	4
燐	mg/L			8.3			2.1			0.2			0.4
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L			1.9									
窒素	mg/L	1.7	1.5	2.2	2.6	1.4	2.5	3.4	2.6	2.3	4.9	3.6	3.2
色度	度			1.5			3.1			0.6			3.3
濁度	度			0.7			0.6			0.5未満			0.6
カドミウム及びその化合物	mg/L			0.005未満						0.005未満			
シアン化合物	mg/L			0.01未満						0.01未満			
有機燐化合物	mg/L			0.1未満						0.1未満			
鉛及びその化合物	mg/L			0.05未満						0.05未満			
六価クロム化合物	mg/L			0.01未満						0.01未満			
ひ素及びその化合物	mg/L			0.01未満						0.01未満			
水銀及びその化合物	mg/L			0.0005未満						0.0005未満			
アルキル水銀化合物	mg/L			不検出						不検出			
PCB	mg/L			0.0005未満						0.0005未満			
トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満									
テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満									
1,1,1トリクロロエタン	mg/L			0.001未満									
四塩化炭素	mg/L			0.001未満									
ジクロロメタン	mg/L			0.02未満									
1,2-ジクロロエタン	mg/L			0.004未満									
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L			0.006未満									
1,1-ジクロロエチレン	mg/L			0.02未満									
1,3-ジクロロプロペン	mg/L			0.002未満									
ベンゼン	mg/L			0.01未満									
1,2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満									
フェノール類	mg/L			0.1未満									
銅	mg/L			0.01									
亜鉛	mg/L			0.01未満									
溶解性鉄含有量	mg/L	0.13	0.10未満	0.23	0.17	0.21	0.22	2.37	0.32	0.34	0.15	0.29	0.23
溶解性マンガン	mg/L			0.10未満									
クロム	mg/L			0.01未満									
フッ素	mg/L			0.2未満									
ホウ素	mg/L			0.3									
セレン	mg/L			0.01未満									
1,4ジオキサン	mg/L			0.005未満									
チウラム	mg/L			0.006未満									
シマジン	mg/L			0.003未満									
チオベンカルブ	mg/L			0.02未満									
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L						0.073						

朽木不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	°C	10.8	11.9	15.1	17.1	19.8	18.9	18.1	15.0	11.8	10.7	8.9	8.3
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L						0.5未満						
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L						0.5未満						
大腸菌群数	個/cm3						0						
ph (水素イオン濃度)		7.5	7.2	7.5	7.2	7.1	7.5	7.4	7.2	7.5	7.6	7.4	7.9
SS (浮遊物質)	mg/L	1.3	0.9	0.6	0.6	0.5未満	0.5未満	2.8	0.6	0.9	1.2	0.5未満	0.6
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	1.2	0.8	1.8	1.2	0.9	2.0	1.6	1.3	1.9	1.3	1.6	1.3
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	2	2	1未満	3	1	1	1未満	2	1未満	1未満	2	3
燐	mg/L						0.1未満						
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L						0.9						
窒素	mg/L	0.7	0.5未満	0.8	0.9	0.5未満	1.0	1.0	0.5未満	0.8	0.5未満	0.8	0.7
カドミウム及びその化合物	mg/L						0.005未満						
シアン化合物	mg/L						0.01未満						
有機燐化合物	mg/L						0.1未満						
鉛及びその化合物	mg/L						0.05未満						
六価クロム化合物	mg/L						0.01未満						
ヒ素及びその化合物	mg/L						0.01未満						
水銀及びその化合物	mg/L						0.0005未満						
アルキル水銀化合物	mg/L						不検出						
PCB	mg/L						0.0005未満						
トリクロロエチレン	mg/L						0.001未満						
テトラクロロエチレン	mg/L						0.001未満						
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L						0.001未満						
四塩化炭素	mg/L						0.001未満						
ジクロロメタン	mg/L						0.02未満						
1,2-ジクロロエタン	mg/L						0.004未満						
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L						0.006未満						
1,1-ジクロロエチレン	mg/L						0.02未満						
1,3-ジクロロプロペン	mg/L						0.002未満						
ベンゼン	mg/L						0.01未満						
1,2-ジクロロエチレン	mg/L						0.004未満						
フェノール類	mg/L						0.1未満						
銅	mg/L						0.01未満						
亜鉛	mg/L						0.06						
溶解性鉄含有量	mg/L						0.1未満						
溶解性マンガン	mg/L						0.1未満						
クロム	mg/L						0.01未満						
フッ素	mg/L						0.2未満						
ホウ素	mg/L						0.1未満						
アンチモン	mg/L						0.01未満						
セレン	mg/L						0.01未満						
1,4-ジオキサン	mg/L						0.005未満						
チウラム	mg/L						0.006未満						
シマジン	mg/L						0.003未満						
チオベンカルブ	mg/L						0.02未満						
ダイオキシン類(コブラ+PCB含む)	pg-TEQ/L						0.072						

高島横山不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	°C	12.1	15.8	17.3	16.1	20.8	18.5	17.3	15.3	10.1	10.9	10.2	11.0
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L		0.5未満						0.5未満				
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L		0.5未満						0.5未満				
大腸菌群数	個/cm3		0						0				
ph (水素イオン濃度)		7.6	7.8	7.7	7.7	7.8	7.7	7.4	7.9	7.6	7.8	7.4	7.7
SS (浮遊物質)	mg/L	3.6	5.4	3.2	4.8	5.6	0.8	4.0	1.6	3.3	2.8	4.4	4.2
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	2.7	3.8	3.3	2.6	3.7	2.3	0.3	3.4	2.8	2.5	1.6	2.3
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	1未満	2	2	1未満	1	1	2	1未満	2	1未満	1未満	2
燐	mg/L		0.1未満						0.1未満				
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L		2.3						3.7				
窒素	mg/L	2.4	2.8	1.9	2.1	3.4	1.9	4.8	4.0	3.2	4.4	2.9	4.9
カドミウム及びその化合物	mg/L		0.005未満						0.005未満				
シアン化合物	mg/L		0.01未満						0.01未満				
有機燐化合物	mg/L		0.1未満						0.1未満				
鉛及びその化合物	mg/L		0.05未満						0.05未満				
六価クロム化合物	mg/L		0.01未満						0.01未満				
ひ素及びその化合物	mg/L		0.01未満						0.01未満				
水銀及びその化合物	mg/L		0.0005未満						0.0005未満				
アルキル水銀化合物	mg/L		不検出						不検出				
PCB	mg/L		0.0005未満						0.0005未満				
トリクロロエチレン	mg/L		0.001未満						0.001未満				
テトラクロロエチレン	mg/L		0.001未満						0.001未満				
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		0.001未満						0.001未満				
四塩化炭素	mg/L		0.001未満						0.001未満				
ジクロロメタン	mg/L		0.02未満						0.02未満				
1,2-ジクロロエタン	mg/L		0.004未満						0.004未満				
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		0.006未満						0.006未満				
1,1-ジクロロエチレン	mg/L		0.02未満						0.02未満				
1,3-ジクロロプロペン	mg/L		0.002未満						0.002未満				
ベンゼン	mg/L		0.01未満						0.01未満				
1,2-ジクロロエチレン	mg/L		0.004未満						0.004未満				
フェノール類	mg/L		0.1未満						0.1未満				
銅	mg/L		0.01未満						0.01未満				
亜鉛	mg/L		0.01未満						0.02				
溶解性鉄含有量	mg/L		0.36						0.24				
溶解性マンガン	mg/L		0.10未満						0.10未満				
クロム	mg/L		0.01未満						0.01未満				
フッ素	mg/L		0.2未満						0.2未満				
ホウ素	mg/L		0.1未満						0.1				
セレン	mg/L		0.01未満						0.01未満				
1,4-ジオキサン	mg/L						0.005未満						
チウラム	mg/L		0.006未満						0.006未満				
シマジン	mg/L		0.003未満						0.003未満				
チオベンカルブ	mg/L		0.02未満						0.02未満				
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L		0.82						0.039				

新旭甕庭不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	°C	19.9	21.2	20.2	21.2	23.9	21.7	21.3	19.5	17.7	17.7	16.9	17.3
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L		0.5未満					0.5未満					
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L		0.5未満					0.5未満					
大腸菌群数	個/cm3		2					3					
ph (水素イオン濃度)		7.7	7.7	7.7	7.7	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
SS (浮遊物質質量)	mg/L	14.6	6.4	10.8	6.8	7.2	9.2	7.4	8.8	8.7	11.8	7.8	21.0
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	3.8	3.9	4.1	3.6	3.6	3.7	3.9	4.0	4.2	4.1	4.0	4.2
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	2	2	3	2	1	2	2	2	3	4	1未満	2
燐	mg/L		0.1未満					0.1未満					
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L		0.5未満					0.5未満					
アンモニア性窒素	mg/L						0.2						
窒素	mg/L	0.5未満	0.7	0.6	0.5未満	0.8	0.5未満	1.0	0.6	0.9	0.8	0.7	0.7
カドミウム及びその化合物	mg/L		0.005未満					0.005未満					
シアン化合物	mg/L		0.01未満					0.01未満					
有機燐化合物	mg/L		不検出					不検出					
鉛及びその化合物	mg/L		0.05未満					0.05未満					
六価クロム化合物	mg/L		0.01未満					0.01未満					
ひ素及びその化合物	mg/L		0.01未満					0.01未満					
水銀及びその化合物	mg/L		0.0005未満					0.0005未満					
アルキル水銀化合物	mg/L		不検出					不検出					
ポリ塩化ビフェニル	mg/L		0.0005未満					0.0005未満					
トリクロロエチレン	mg/L		0.001未満					0.001未満					
テトラクロロエチレン	mg/L		0.001未満					0.001未満					
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		0.001未満					0.001未満					
四塩化炭素	mg/L		0.001未満					0.001未満					
ジクロロメタン	mg/L		0.02未満					0.02未満					
1,2-ジクロロエタン	mg/L		0.004未満					0.004未満					
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		0.006未満					0.006未満					
1,1-ジクロロエチレン	mg/L		0.02未満					0.02未満					
1,3-ジクロロプロペン	mg/L		0.002未満					0.002未満					
ベンゼン	mg/L		0.01未満					0.01未満					
1,2-ジクロロエチレン	mg/L		0.004未満					0.004未満					
フェノール類	mg/L		0.1未満					0.1未満					
銅	mg/L		0.01未満					0.01未満					
亜鉛	mg/L		0.01未満					0.03					
溶解性鉄含有量	mg/L		0.10未満					0.10未満					
溶解性マンガン	mg/L		0.76					0.68					
クロム	mg/L		0.01未満					0.01未満					
フッ素	mg/L		0.2未満					0.2未満					
ホウ素	mg/L		0.3					0.3					
アンチモン	mg/L						0.01未満						
ニッケル	mg/L						0.01未満						
よう素消費量	mg/L						1.0未満						
セレン	mg/L		0.01未満					0.01未満					
チウラム	mg/L		0.006未満					0.006未満					
シマジン	mg/L		0.003未満					0.003未満					
チオベンカルブ	mg/L		0.02未満					0.02未満					
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L		0.054					0.18					

(6) 高島市環境基本計画の数値目標について

「高島市環境基本計画」の進捗状況を把握するための平成18年度、平成23年度の数値目標を記載しました。この目標値に対して現在の数値は、以下のとおりです。

○美化活動参加率 27年度 16,435人 (+36%)

	目標	進捗状況
平成18年度	12,000人	—
平成23年度	14,400人 (+20%)	15,720人 (+31%)
平成28年度	18,000人 (+50%)	—

○区・自治会単位での環境担当役員の設置数 27年度数値 171団体 (全体の78%)

	目標	進捗状況
平成18年度	(要調査)	—
平成23年度	18団体 (全体の10%)	171団体 (全体の86%)
平成28年度	204団体 (全体の100%)	※高島市環境基本計画策定時は203団体

○区・自治会、事業者、各種団体、学校等での環境学習会、交流会の実施数 27年度数値 24回

【区・自治会】

	目標	進捗状況
平成18年度	—	—
平成23年度	18回	107回
平成28年度	204回	※高島市環境基本計画策定時は203団体

【事業者】

	目標	進捗状況
平成18年度	—	—
平成23年度	20回	25回
平成28年度	35回	—

【各種団体】

	目標	進捗状況
平成18年度	6回	—
平成23年度	10回	37回
平成28年度	18回	—

【学校・園】

	目標	進捗状況
平成 18 年度	—	—
平成 23 年度	16 回（全小学校）	31 回
平成 28 年度	22 回（全小・中学校）	—

○環境こだわり農業の実施数

27年度実績 生産者 458人 (+58%)
面積 1,253ha (+334%)

	目標	進捗状況
平成 18 年度	生産者：289人 面積：375.07ha	—
平成 23 年度	生産者：650人 (+125%) 面積：1,010ha (+170%)	生産者：800人 (+177%) 面積：1,192ha (+218%)
平成 28 年度	生産者：1,190人 (+312%) 面積：1,780ha (+375%)	—

○天然林の割合

27年度実数 54% 19,417 ha

	目標	進捗状況
平成 18 年度	53% (19,725ha)	—
平成 23 年度	現状維持	53% (19,429ha)
平成 28 年度	現状維持	—

○魚貝類の種類

27年度現在 45種類（魚類16種類、貝類29種類）

	目標	進捗状況
平成 18 年度	琵琶湖固有の魚貝類 40 種類 (魚類 12 種類、貝類 28 種類)	—
平成 23 年度	現状維持	琵琶湖固有の魚貝類 44 種類 (魚類 15 種類、貝類 29 種類)
平成 28 年度	現状維持	—

○ごみ排出量

27年度実績 一人当たり 901g/日 総量 16,842 t/年

※参考 うち可燃ごみ排出量

27年度実績 一人当たり 700g/日 総量 13,087 t/年

	目標	進捗状況
平成18年度 (現状)	一人当たり 1,120g/日 総量：22,817t/年	—
平成23年度	一人当たり 1,108g/日 (−1%) 総量：21,220t/年 (−7%)	一人当たり 989g/日 (−12%) 総量：19,363t/年 (−15%)
平成28年度	一人当たり 855g/日 (−24%) 総量：16,196t/年 (−29%)	—

高島市環境白書 2016

(高島市環境白書)

平成 29 (2017) 年 1 月発行

編集・発行 高島市環境部環境政策課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地
TEL 0740-25-8104
FAX 0740-25-8145
E-mail kankyo@city.takashima.lg.jp